

## 地鎮祭と上棟式

住まいの設計ができれば着工となりますが、その前に、大切な式を執り行なう慣習があります。それが「地鎮祭」です。家づくりにたずさわっていると、まれに「地鎮祭」って何ですか？とか「上棟式」はやった方がいいのでしょうか？と聞かれる事があります。

私の会社の場合、ほとんどの方が「地鎮祭」、「上棟式」共に挙げられ、そのまたほとんどが神道によるものですが、その際の宗教はお施主さんの自由です。

「地鎮祭」は文字通り「その土地の神を鎮める」ことにあります。建築する敷地の守護神である大地主神（おおとこぬしのかみ）や産土神（うぶすなのかみ）を祀り、敷地の邪気を祓い清め、その土地が永遠に安定するように、また工事が無事終わることをお祈りする式とされています。

また、「上棟式」は柱たてが終わり屋根にかかる一番高いところの棟木をあげるにあたり、新家に災いがなく永遠に栄えることを祈る儀式です。ここでは屋敷の守護神である屋船久久遅命（やふねくくのちのみこと）、屋船豊受気比売命（やふねとよけひめのみこと）、手置帆負命（たおきほおいのみこと）、彦佐知命（ひこさしのみこと）の四柱の神様と産土神を祀ります。このため本来なら「上棟式」も神官が執り行うものですが、最近は棟梁が祝詞から一連の式を取り仕切ることが多くなっています。またこの後工事現場で働く人の労をねぎらう意味も込めて、建前に参加していただいた棟梁や大工さんに御膳やお酒、祝儀を出す場合があります。

簡潔ですがこれまで書いてきたように、「地鎮祭」及び「上棟式」の主役は、あくまでもお施主様です。私たちはお施主様の分からないところをサポートするのが私たちの仕事です。

（住まいづくりメンバー 株式会社丸井工務店 西原英樹）



## イベント報告

木と家の会 第2回イベント

**風土に合った『かがわ型住宅』を考えよう！** 平成21年7月11日(土)、12日(日)

7月11日(土)、12日(日)の2日間にわたって行われました、木と家の会主催イベント「風土に合った『かがわ型住宅』を考えよう」に大勢の方にご来場いただきありがとうございました。

おかげさまで、2日間合計で38組85名もの、お客様をお迎えしての開催となりました。

初日は地域型展示住宅(高松市林町)において、「かがわ型住宅」と「県産材を使った家づくり」と題し、当会の住まいづくりメンバーがスライドを用いて、県産材の現状と県産材を使った住まいづくりのセミナーを開催しました。

二日目は、現地見学会としてさぬき市大川町田面において、現在建設中の「さぬき市で伐採された桧材を使った住まいの現地見学会」が開催されました。県産桧材を使ったダイナミックな架構を皆さんに見ていただくことができました。多くの方からご好評のご意見をいただき厚く御礼申し上げます。

当会では、今後9月、11月、2月とイベントを企画しておりますのでご期待ください。

(このイベントは平成21年度国土交通省 地域木造住宅市場活性化推進事業の補助を受けています。)



## 木と家の会とは？

NPO法人木と家の会は、家づくりを中心に四国の山で育てられた木材の健全な消費をとおして、森林環境の保全と良好な住環境づくりに取り組んでいる団体です。林業家、材木店経営者、建築設計者、施工者、木工家、一般市民などさまざまな分野の人たちが集まっています。

木と家の会は国土交通省より平成20年度、21年度地域木造住宅市場活性化推進事業の補助を受けています。

## 住まいづくりメンバーのリレーコラム『地域の住まいづくり1・2・3』

### 縄文杉

エムアイ.アーキテクト 代表 池田裕美

今年の4月、屋久島へ行ってきました。目的は縄文杉に会うことです。杉は日本の固有種で屋久島から東北地方までの広い範囲に分布しています。湿潤な土壌を好むため、雨の多い地方によく植えられています。屋久島は月のうち、三十五日は雨と比喻されるように雨の多い地であります。島のほとんどが花崗岩であり、わずかな地表面の土壌にしっかりと根を這わせそびえているのが屋久島の杉達です。その中でも有名な縄文杉は樹齢約2000年(4000年以上という説もあり)、大王杉は3200年と測定されています。樹齢1000年を超えるものが屋久杉で、1000年以下のものは小杉と呼ばれています。人間の手によって植えられたものは地杉と呼んでいるそうです。

さて、その縄文杉に対面するには、片道10km、標高差700mの行程を徒歩にて進まねばいけません。夜明け前の5時頃、縄文杉に向かい出発します。普段歩くことの少ない体にとっては、拷問のようにきつい行動なのですが、森林から放たれるマイナスイオンがどんどん体を山奥へと押し進めてくれます。途中多くの屋久杉たちに出迎えられ、最後の縄文杉に出会った時にはほんとと他を圧倒する存在感に押しつぶされそうになりました。大袈裟ではありますが、人生とは何かと問いかけてられているような気がしました。

長く使う、長く愛される、そんな家づくりを目指して活動していますが、原点に帰って今一度見つめなおすことも必要なのは、決して流行とかに流されないようしっかりと地に足をつけてぶれない心を持つことが大事なのでは。。。それが一番難しいことなのですけど。



『木と家の会』のブログをぜひご覧ください。

地域型展示住宅の建築過程や、地域の住まいづくりに関するあれこれが見られます。



地域型展示住宅

検索

### 『住まいづくり相談』担当者一覧 7月15日～8月31日

7月	18日	(土)	赤山 芳隆 増田 孝夫	RYO建築設計 森風舎	8月	1日	(土)	川口 洋子	川口洋子建築設計
	19日	(日)	小松 秀行 赤山 芳隆	(有)小松秀行建築工房 RYO建築設計		2日	(日)	川口 洋子 松田 保文	川口洋子建築設計 (有)MO環境設計
	20日	(祭)	小松 秀行 池田 裕美	(有)小松秀行建築工房 エムアイ.アーキテクト		8日	(土)	増田 孝夫	森風舎
	25日	(土)	笠井 幸治 西尾 直樹	(株)カガリ設計一級建築士事務所 高陽建設(株)		9日	(日)	増田 孝夫 西尾 直樹	森風舎 高陽建設(株)
	26日	(日)	笠井 幸治 西尾 直樹	(株)カガリ設計一級建築士事務所 高陽建設(株)		15日	(土)	お盆休み	
	木と家の会では地域の住まいづくりに関する相談や疑問などに、地域の住まいづくりに実績のある専門家が、「無料」にて解りやすくお答えします。お気軽にご来場下さい。 ■営業時間:午前10時～午後5時 ■場所:地域型展示住宅(高松市林町、香大工学部北側)					16日	(日)	お盆休み	
22日						(土)	松田 保文	(有)MO環境設計	
23日						(日)	松田 保文 増田 孝夫	(有)MO環境設計 森風舎	
29日						(土)	赤山 芳隆	RYO建築設計	
30日						(日)	赤山 芳隆 小松 秀行	RYO建築設計 (有)小松秀行建築工房	

地域型展示住宅は随時見学可能です。事前に事務局までご連絡の上、ぜひお越しください。

(地域型展示住宅の所在地は高松市林町6-25、レインボー通り南詰めを東へ約400m、香大工学部北西角にあります。)